

まち運営会議(第144回)議事録(概要)

令和6年4月25日 18:30～20:25

自由が丘エヌケービル3F 会議室

議長 卯月盛夫

議題 報告事項

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. 目黒区の街づくりに係る組織改正等について | 目黒区街づくり推進部 |
| 2. 自由が丘駅周辺の公衆喫煙所の整備の進捗について | 目黒区環境保全課 |
| 3. 自由が丘駅周辺の自転車等放置防止指導員の廃止と今後の対応について | 目黒区土木管理課 |
| 4. 自由が丘駅東地区 街づくり提案書の提出および検討状況について | 自由が丘東地区市街地再開発準備組合 |
| 5. 補助第127号線整備に関する提言書について | 卯月議長 |
| 6. 東急大井町線・東横線 踏切解消連絡会の設立について | 岡田代表 |
| 7. 自由が丘のイベント案内 | 原理事長 |

資料

1. 自由が丘駅周辺の公衆喫煙所の整備の進捗について(4/25)
 2. 自由が丘駅周辺の放置自転車の状況と今後の対応について
 3. 自由が丘東地区第一種市街地開発事業 街づくり提案書(案)[概要版]
 4. 自由が丘 都市計画道路 補助127号線整備に関する提言書[概要版]
 5. Jiyugaoka Sweets Festa! 2024.5/4～5/6
- *上記資料の5以外は、ホームページにこの議事録概要と併載します。

- 代表 今日(25日)は26度以上になった。まちづくりに関しては良い流れになっているとうれしく思っております。今日もいろいろな情報提供とたくさんの意見交換をよろしくお願いいたします。
- 議長 第144回自由が丘のまち運営会議を始めます。

1. 目黒区の街づくりに係る組織改正等について

●街づくり推進部長の清水です。区は組織を拡充した。自由が丘のまちづくりの課題もトータルに解決していきたいので、新たに都市基盤整備課を設置した。都市計画道路など道路と鉄道の立体化を専任で担当する。紹介したい。山下課長、柏木係長、庭田です。地区整備課は小林課長が6年目、増田係長、畑中です。連携して自由が丘のまちづくりに取り組んでいきたい。

2. 自由が丘駅周辺の公衆喫煙所の整備の進捗について

- 環境保全課に4月の人事異動で着任した課長の佐藤です。同席しているのは黒田係長、上利主事です。しらかば通りの公衆喫煙所の整備の進捗についてご報告します。資料にあるように4/1に予定どおり開設した。その後、自転車の乗り入れの情報があり、自転車等の乗り入れ禁止を掲示した。広場の整備は確定したものの、引き続き検討してまいります。壁面アートは制作の準備を行っており、今後、足場を設置し制作する。今後の予定では5月中旬に広場と壁面アートを完成する。資料の裏面には、整備イメージを示した。喫煙所内部の様子、ベンチとプランターの形と配置、入り口の案内表示や2種のカラーコーン等である。ビデオカメラで調べた利用者数は日に75-85人、多い時間帯は12:30-15:30と17:30-18:30である。
- 議長 壁面アートはどこからどこまで考えているのか。

- 課長 入り口の右側の建物の壁一面で、高さも上まである。
- 清掃について聞きたい。広場はいつもきれいである。灰皿が汚れていたり、その縁にタバコの箱が 10 個ぐらい積まれているのを見た。清掃は日に何度するのか。何時ごろするのか。
- 課長 日に 2 回、午前と午後にするが時間は決めてない。タバコの箱については聞いていない。清掃時の状況についても把握しておきたい。
- アートの制作時に足場が必要であるが、喫煙所への通路は確保できるか。
- 課長 確保するために、アートができる前にはベンチを置かない。
- 議長 アート制作では安全に注意してやってもらいたい。これからも利用状況を見て、何かご意見があったら環境保全課にお寄せください。ありがとうございました。

3. 自由が丘駅周辺の自転車等放置防止指導員の廃止と今後の対応について

- 土木管理課長の原です。こちらは自転車対策係の三上です。全区的な放置自転車についても所管しているが、自由が丘については地区整備課と情報を共有し連携して対応している。(以下は説明等の概略である。)
- ・放置自転車の台数は、約 20 年前と比較して自由が丘ではおおむね 1/30 に減少している。(618→17)
- ・従来は朝の通勤時間以降の長時間放置が多く、近年は午後・夕方の短時間の放置が多い。
- ・平成 12 年度～令和 5 年度に区全体で午前中(夏は 8 時～ 10 時)に配置していた 16 人の放置防止指導員は 6 年度から廃止した。
- ・局所的に放置自転車が多い場所や従来と異なる時間帯の放置など、個別課題への対応は必要であると認識している。
- ・令和 6 年度の対策として、三井住友銀行前において試験的な放置防止対策を実施する。月に 1 回、区の作業員による放置自転車への警告・撤去を、次のいずれか、土曜日の午前か午後か日曜日の午前に行う。日程の事前通知は行わない。
- ・各回の結果を経過観察して、実施方法を修正しながら対策を行う。
- 議長 ありがとうございます。質問やご意見をお願いします。
- 放置自転車で困るのは、歩行者やベビーカーの利用者の通行の安全性が損なわれるからだ。その観点から質問するが、なぜ通行しない銀行前の広場か。通勤通学の人の少ない土・日なのか。
- 課長 この銀行前は「いこいの場所」として整備されたのに駐輪に利用されている。また、区は撤去を土・日には行わないと知られているようで、抜き打ち的に実施する。車 2 台で 48 台の自転車を撤去できるが、もし余れば、他の区域内の混んでいる所からの撤去を考えている。平日はこれまでどおり撤去を継続する。
- まちに自転車でどんどん来てもらいたい。しかし、放置は困るので、まちとしてきちんと駐輪できる場所ができるとよいと思っている。
- 課長 区も自転車利用は健康にも環境にも良いし需要があると考えている。駐輪場が増えるように民間の事業者にも区の補助制度を案内したい。現在の区の駐輪施設を月決めだけでなく、時間で利用できるように対応したい。
- 利用できる駐輪場の案内が不十分だと思う。こうした対応も必要だ。
- 課長 こうした情報の発信を区はしっかりやりたいと思っている。
- 東横線東側の美観街の中の道路は放置自転車禁止区域になっていないが、放置自転車は多い。区はどのように考えているか。
- 課長 ここの何本かの細い道は私道で、土地権利者の合意形成が得られなかったため、放置自転車禁止区域に指定することはできなかったのが現状である。
- 議長 自転車については放置対策や駐輪対策を含め、これから再開発事業や都市計画道路の整備等もあるので、自由が丘における自転車等の利用について大きな視点で区とまちと一緒に考えていきたい。

4. 自由が丘東地区 街づくり提案書の提出および検討状況について

●準備組合 1月のこの会で東地区第一種市街地開発事業について説明しましたが、4/12に街づくり提案書(案)を区に提出したので、その内容の概要について資料とスライドで説明します。この再開発事業においては、これまでの自由が丘のまちづくりの取組を受けて「緑とにぎわいのあふれるウォーカブルな市街地環境の創出」を目指す。その個々の具体的な取組は、地元説明会に参加された方々等に実施したアンケート調査で示されたご意見・ご要望も反映している。

(以下は説明のごく一部である。資料にはそれぞれにわかりやすいイメージが添えてある。)

●整備方針 4つの方針をたて、それを説明する整備イメージ図に6点を示した。①歩車分離による安全な幹線道路の確保 ②歩行者ネットワークの強化 ③駅前オープンスペースの創出と活用 ④駅前防災機能の強化と拡充 ⑤みどりのネットワークの創出 ⑥都市環境への配慮と駅前不足機能の確保

●主な取組(地域貢献) ①補助46号線沿道整備による安全で快適な都市基盤の整備(バリアフリーの歩行者空間、植栽、無電柱化等) ②都道自由通りの道路交通環境の改善(バリアフリーの歩行者空間、植栽、無電柱化等) ③駅周辺のウォーカブル空間の実現に資する「楽歩」環境の創出(駅前への自動車の侵入を制限、貫通路) ④広場等のオープンスペース整備による憩いとにぎわいの創出(地区の約50%が広場や歩行空間、ストリートファニチャーの設置) ⑤広場等の利活用による自由が丘の街路文化の継承・発展(駅前に用地を確保) ⑥駅前における防災性の強化と拡充(共同化による建物の耐震不燃化、防災関連の倉庫・屋内空間等) ⑦みどりのネットワークと「緑装」によるみどりの駅前拠点の創出(植栽や壁面緑化) ⑧都市環境による配慮と駅前に不足している機能の整備(地域利用駐輪場、公共トイレ、公衆喫煙所等) ⑨まちの活力の源となる定住人口の確保(住宅約250戸、純増240世帯) ⑩将来的な道路と鉄道の立体化の円滑な推進への寄与(工事用地への一時的転用可能空間の確保)

●周辺環境への影響 ①建物の容積率緩和は最大250%可能であるが、まちとの調和やバランスを考慮し150%に抑えた。②風の影響: シミュレーションによると建物による近隣の場所の平均風速は大きく上昇しない。③日影の影響: 建物を低く太いよりも細く高いとし、影響を少なく抑えた。影響を受ける所でも法規の値に収まっている。④電波障害: 机上調査によるデータであり、影響が生じた場合は、竣工後に具体的調査と対応を検討する。⑤歩行者通行の評価: すずかけ通りと駅前広場に関して混雑度が改善される。⑥景観: 半径1km以内の交差点28か所で調べたが10か所から建物が見える。その中で3か所からは大きい、デザイン等工夫する。⑦色調と素材: 周りとの調和を図り良好な色と素材を選定する。⑧街並み形成指針を遵守し、街並み形成委員会等と対話を継続して良い街並みになるようにする。

●議長 ご説明ありがとうございました。ご質問等があれば挙手をお願いします。

●風の影響のシミュレーション結果が示されたが、高い建物によって周辺の歩行者に影響を与えるほどの風が強くなる日数の増加については推定されているのか。

●組合 今回の計算手法によると、周辺の影響を受ける場所で最大風速の年間平均は4.3m/s以下になっている。瞬間最大風速がもっと大きくなる日も出てくると思われるが、実際に影響が強くなる場合には対応を検討する。

●駅前広場で3/17に「写すわーる」という社会実験をしたが、風が強くて企画の一部ができなかった。その日の気象によったのか建物の影響もあったのかわからないが、軽いものは飛ばされる風がしばしば吹いた。平均風速だけでは判断できないと思うので、風の影響が抑えられる対応をあらかじめ検討してもらいたい。

●組合 建物の足元に広場や歩行者空間をつくり、出入口も設置するので、風の影響を抑える取組をしたい。

●3つ質問したい。基壇部とは何階までか。貫通路のほかに建物の出入口はどこに設置するか。すずかけ通り側はセットバックするが、そこにできる歩行者空間や設えは自1-29やその西側の再開発計画地と連続性をもたせるようになるのか。

●組合 基壇部は4階までの約20mの高さで商業・業務施設が入る。貫通路のほかに主要な出入口は建物の駅に近い所と北東部に計画しているが、内部のレイアウトとの関係もあるため、具体的な位置は今後検討していく。建物周縁の道路や広場の設え、すずかけ通り側の整備の連続性は区の指導もあり、他の地区と連

携して取り組む。具体的な仕上げについてはまだ決まっていない。時機をみて説明したい。

●街並み形成委員会としては、組合に早い時期での調整をお願いするとともに、区を交えて3者で関係するいろいろなことを検討して、まちにとって良い指針づくりにも反映したい。

●議長 街並み形成指針は良くできていると思うが、指針を作る時に再開発のような大型施設については想定していなかった。街並み形成委員会は自1-29の再開発組合と何回か協議したが時期は遅れ気味であった。その反省を踏まえて、東地区の組合と協議しながら大型施設への対応を含む指針の改定作業をすることになると思う。東地区に関して今日はここまでにします。ご説明ありがとうございました。

5. 補助第127号線整備に関する提言書について

●議長 この提言書について私から説明します。資料右上にある2つの検討会で補助第127号線(カトレア通り)の整備をどのようにしたらよいかを4年ぐらい前から話し合ってきて、昨年3月にまちからの提言書を区に提出予定であったが、カトレア通りと同じように防風用街路樹等を植栽する自1-29地区の東側の女神通りと北側のすずかけ通りについてもそのデザインを検討しておいた方がよいと判断して区とも協議したために1年提出が伸びた。協議にはジェイ・スピリットの代表等も関わっている。補助127号線の整備では西側を9mセツバックすることになるので土地権利者が大きな影響を受けるため、関係者が参加するこの2つの検討会は整備推進の理解と協力を得るために必要な役割をもったと思っている。

(概要版はA3で4ページであるが、具体的な数値や地図・イメージもある。以下は説明での概略である。)

●道路整備の基本方針 ①駅前広場へのアクセスを担う機能に特化した区間とする ②バス・タクシー等の交通を中心とし、一般車の通過交通を抑制する ③歩行者の賑わいのある道路空間とする

●提言Ⅰ 道路整備の進め方と整備形態について —— 補助第127号線の設計に反映して欲しい事

①周辺道路(補助第46号線等)が完成するまでの暫定的な整備とする

②歩行者空間を重視した設計(滞留空間確保、歩車道段差の解消)とする ・道路西側に5mの歩道、東側に2mの歩道を設ける ・歩道の高さと同断歩道の高さを同じにしてハンプ状の横断歩道にする ・計画区間は自動車の速度規制を20km/hとする ・この道路に関連する交差点等は安全性に配慮する その他

③車道幅員は必要最低限の8m(車線5.5m、自転車走行空間は1.5m+路肩1m)とする

④補助第46号線との交差点には右折車線を設置しない

⑤イベント利用を想定した道路設計とする(例えば、イベント用電源、給水設備、テント設営用フックの設置)

●提言Ⅱ 居心地が良く歩きたくなる道路デザインについて

①歩車道の舗装についての考え方 ・車道と歩道のデザインの連続性ある舗装材 ・歩道と民地内の同様な舗装 ・歩行者中心の空間である雰囲気創出 ・透水性舗装の採用

②横断抑止機能についての考え方 ・固定式の横断抑止柵は設置しない ・低木植栽、プランター等を設置

③街路樹・植樹帯についての考え方 ・木陰による歩きやすさを確保するため樹種・列数・間隔を工夫する

④街灯・照明についての考え方 ・自由が丘のメインストリートにふさわしいこだわりのあるデザインを採用する

⑤様々なシーンを想定したストリートファニチャー等の設置と利活用について ・日常時は、ベンチ等を設置 ・歩行者天国時は、更に自動車等の流入を抑制する可動式のものを設置 ・イベント時は、更にテント・ワゴンを設置 ・ジェイ・スピリットを中心とした地元と道路管理者である目黒区は連携して、利活用や維持管理を行う

●まちづくりの推進にあたって——賑わいを創出・維持するために

①まちが一体となるイベントの開催 ②歩行空間を活用するためのルールづくり、運営 ③街路樹や植栽の管理 ④駐車場の地域ルール活用 ⑤自転車利用環境の創出 ⑥無電柱化の推進

●補助第127号線整備(駅前広場～補助第46号線)の進め方

地域： 提言書の作成と提出→地域への情報発信/運営体制・ルールの検討→利活用の社会実験として、イベント開催なども検討→目黒区と連携して供用開始・維持管理

目黒区： 提言書を受けて、道路設計に出来る限り反映→交通事業者・交通管理者等と調整・連携→地域と連携して供用開始・維持管理

●議長 植栽については関係者と協議を重ねた。自 1-29 のカトレア通り側は 1 階部分がセットバックするが 2 階は道側に出るので、その下に植えるという難しい面がある。まだ樹種は決まっていないが防風用の樹木と街路樹を千鳥状に配置して歩きやすいようにしたい。すずかけ通り側はセットバックして道路が広がるので歩道もでき、大きな街路樹が植栽できて良い空間が生まれるが、無電柱化による変圧器の位置がほぼ決められているので制約もある。女神通り側はこれまでとおり 1 階が引込んで雁木状になるが、防風用の樹木は区道との境界ぎりぎりに植える。協議を重ねて区と警察から管理が出来れば可能であるということになった。説明を終わります。ご質問等をお願いします。

●それぞれの樹種はどのようにして決めるのか。

●議長 樹種は夏頃までに決めたい。

●代表 防風植栽は敷地の中で果たす義務がある。折り合いがつくように、区は大変だったと思う。女神通りは過去に土地の権利者が 1 階をセットバックして雁木状の歩道状空地为供用していた。道路は安全第一であるが、こうした取組も踏まえて歩道の整備とまちの実態に合わせて、区の担当者は警視庁に通り、かなり高度の調整をしてもらって西側と東側のバランスがとれるように対応した。

●横断歩道のハンプは必要か。自転車や自動車への影響はどうか。自転車道路は安全に確保できたか。

●議長 歩行者等が歩きやすくなるために、歩道と車道の段差はできるだけ小さくする。車は横断歩道の手前で少し高くなるが影響を抑えるために傾斜をつける。車の速度を抑えるためにイメージハンプ設置も考えている。

●区担当者 結論からいうと、自転車は安全に通行できる。警視庁は自 1-29 が完成したときの道路構造はこれでよいと認めた。車道に接する自転車道路の幅員は路肩を利用して 1.25m になる。

●樹種を選ぶときに、剪定のことも考えなければいけないが、駅前広場のケヤキは枝を張って気持ちよい。

●議長 ほかに質問が無いようなので、この件についてはこれで終わります。

6. 東急大井町線・東横線 踏切解消連絡会の設立について

●代表 踏切解消は自由が丘の長年の悲願である。鉄道が地下に入るか高くなるか壮大な話になる。再開発で周辺道路も整備されて、車も人の移動も活発になるのに、消防車や救急車が通れないガード、なかなか開かない踏切があるのはまちにとって良いはずはない。踏切解消は世田谷区とも関係があるので、1 年ほど前から地元の区議が声かけして本格的な話し合いの場をつくる必要を検討してきた。この度、連絡会をつくった。8 月には勉強会も開催する。熱意をもって自由が丘駅周辺の踏切を何とかしてくださいと声を挙げるのが我々の役目だと思っている。地域の幅広い多くの方に参加してもらうように働きかけたい。オブザーバーとして区の担当者や区議に入ってもらい、東急や東急電鉄のオブザーバーとしての参加を今後検討する。世田谷区と足並みがとれたら連絡会は協議会に発展して、踏切解消に向け連携して取り組む予定である。

●議長 この連絡会の進捗についても、まち運営会議に情報提供してもらい、みなさんのご意見もいただきたいと思います。次の議題に入る前に情報提供があります。

●自 1-29 の工事車両の通行に関して組合より変更したとの連絡がありました。騒音等の関係で、夜間の通行時間帯を 17:00 ~ 24:30 にする。目黒通りを利用する通路はすずかけ通りの八幡中の前を通らずに学園通りを使う。学園通りとの交差点、カトレア通りとの交差点、ゲート付近にはガードマンを配置する。

7. 自由が丘のイベント案内

●理事長 お配りした資料で説明したい。スイーツフェスタは 5/4 ~ 5/6 に行く。開催日時は異なるが、「駅前スイーツマルシェ」「キムソンへ×自由が丘」「ホイップるん 20 年記念」、「ローズガーデン」では後藤みどりさん、「能登半島地震復興支援プログラム」では石川県出身の辻口博啓さんなどのトークショー、その他、自由が丘スイーツデジタルスタンプラリーや飲料組合が主催するスイーツカテルキャンペーン 2024、6 つの商店会はそれぞれの場所で独自の催しを企画している。賞品も用意してあるので、皆さんの参加をお願いします。

●議長 これで第 144 回のまち運営会議を終了します。ありがとうございました。次回は 5/23 の予定です。